

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	3812
部 名	消防本部	課 名	警防課	課長名	鈴木 久道
事務事業名	消防車両購入事業				
予算上の事務事業名	消防車両購入費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織法、消防力の基準等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市消防力整備計画		1 消防組織法・施設の充実 2 消防車両・装備の充実		
計画年次	13	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象 (誰、何)				
複雑多様化する各種災害、救急出場に対応するため、消防車両を充実させ消防力の強化を図るもの。			市民		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
1 平成17年度更新車両 災害の複雑多様化を踏まえて、新磯分署開署に伴う救急車の新規導入、消防車両の更新及び新たな資機材を導入するとともに、消防活動資機材の軽量化や救急資機材の高度化を図った。 (1) 水槽付消防ポンプ自動車 (配置場所：淵野辺分署) (2) 高規格救急車 (配置場所：新磯分署 (新規導入)、上鶴間分署 (更新分)) (3) 広報車2台 (配置場所：予防課、南本署) (4) 作業車 (相模原本署)					
6 関連・類似事業や他市の状況	他自治体も同様な目的で実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	9,524	173,599	112,864	217,308	217,308
一般財源	5,888	131,799	80,585	13,032	13,032
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	3,636	41,800	32,279	204,276	204,276
人件費の合計	8,010	8,070	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	17,534	181,669	120,914	225,358	225,358
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	消防車両購入事業			対象名称 と単位	更新消防車両 (台)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	17,534	181,669	120,914	225,358	225,358
対象数	4	4	6	6	6
単位あたり経費(円)	4,383,500	45,417,250	20,152,333	37,559,667	37,559,667
前年度比		10.36	0.44	1.86	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	更新消防車両台数（台）	指標式と指標の説明	更新車両台数／更新計画		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	4.0	4.0	6.0		
目標	28.0	5.0	8.0	6.0	10.0
目標達成度（%）	14.3	80.0	75.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	火災不燃焼率（%）	指標式と指標の説明	不燃焼火災／火災発生件数×100 火災を延焼させない割合		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	233.0	218.0	208.0		
目標	253.0	234.0	211.0	211.0	211.0
目標達成度（%）	92.1	93.2	98.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		消防車両の適正な整備計画は、平成13年度に策定された「消防力整備計画」に伴い、計画的に整備されていたが、財政難の折、「消防力整備計画」の見直しを行っている段階である。また、津久井郡広域行政組合消防本部との合併に伴い、消防車両の購入事業については、上層の専断を認める必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
消防事務の特性から民間を活用することは困難であるが、万全な災害対応の確立や組織の効率化・合理化の検討など、総体的に検討するため、「消防力整備計画」の見直しを図る。			今後、どのような組織の効率化・合理化を図っていきながら、消防車両の適正配置を計画することが課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		消防力整備計画で車両の適正配置及び更新計画等について検討すること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			